

ハイハイで踊らにゃ損損♪

第53回天草ほんどハイヤ祭り

7月21日の子ハイヤで始まった祭りは、花火大会、踊りの競演と続き、8月4日に約2,700人による道中総踊りでフィナーレを迎えました。天草の夏を彩った祭りを写真で振り返ります。



▲子ハイヤにはくまモンも参加

▲暑さに負けず元気に踊った800人の子どもたち



▲13団体がステージ踊りを披露した「踊りの競演」



▲12,000発の花火大会



▲各団体の衣装も楽しみの1つ

▲選ばれし踊り手(南風人)



▲天草拓心高校・郷土芸能部。踊り手も沿道の観客も笑顔があふれた道中総踊り

イベントカレンダー

- あまくさ丼丼フェア【～11月30日】
(市内34店舗)
- 世界文化遺産登録記念特別展
「受け継がれた祈りのかたち
一信仰具からみた天草のキリシタン史」
【～17日】9:00～17:00(崎津資料館みなと屋)
- 本渡歴史民俗資料館夏期特別展
「天草動物たちの衣食住」【～30日】
8:30～17:00(本渡歴史民俗資料館)
- 倉岳・新和地域および河浦町・富津地区避難訓練
9:00～
- 第20回恐竜絵画コンテスト作品展【～19日】
10:00～17:00(ギャラリー四季)
- 世界文化遺産登録記念特別展「受け継がれた祈りのかたち
一信仰具からみた天草のキリシタン史」関連講演会
13:30～16:10(市役所河浦支所)
- 天草市一斉避難訓練 9:00～
(本渡、牛深、御所浦、五和、天草地域および河浦町〔富津以外〕)
- 敬老の日
- 女性のための無料法律相談
10:00～12:00(市男女共同参画センターばばらす)
- 牛深総合センター自主文化事業「松竹新派特別公演
～華岡青洲の妻～」14:00～(牛深総合センター)
- 秋分の日
- 天草市民センター自主文化事業「天草物語」
14:00～(天草市民センター)
- 振替休日
- 有明フットパスモニターツアー(リップランドコース)
9:00～12:00(リップランド駐車場)
- 健康福祉講演会「共に生きることのすばらしさ
～心を伝える意味を考える～」
13:15～15:30(天草市民センター)
- 空の日フェスタ2018 in 天草空港
10:00～15:30(天草空港〔五和町〕)

市政だより

天草 平成30年 9月号

Contents 主な内容

- 3 宝島のわだい
- 7 海にうかぶ博物館 天草ジオパーク
- 8 みんなでつくる「公共交通」
- 14 みんなの広場
- 16 あまくさん／スポーツ大好きっ子
- 17 暮らしの情報
- 28 市民のひろば
- 33 健康ごよみ
- 34 天草の潮汐／行政相談所を開設
- 35 休日在宅病・医院／水道修繕当番店
- 36 いきいき健康

天草の情報
発信中!



Facebook



Instagram

人のうごき

7月31日現在

7月中の異動

※()内は前月比

人口	81,562	(90減)	出生	36人
男	38,317	(22減)	死亡	110人
女	43,245	(68減)	転入	111人
世帯数	37,119	(23減)	転出	127人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所・市庁舎別館 ☎21111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深 ☎21111・有 明 ☎31111 御所浦 ☎21111・倉 岳 ☎31111 栖 本 ☎31111・新 和 ☎21111 五 和 ☎11111・天 草 ☎21111 河 浦 ☎11111



▶再会を喜び写真を撮る新成人

浴衣姿で人生の門出を祝う
牛深地区成人式

8月16日、牛深総合センターで「牛深地区成人式」が行われ、新成人113人が出席しました。式典では梶原雅也さんが、「社会人としての責任を胸に、ピンチの時こそチャンスととらえ勇気と信念を持って行動します」と宣誓。牛深ではお盆の帰省に合わせて開催するため浴衣姿の女性が多いのも特徴。式典終了後は、記念写真を撮るなどして久しぶりの再会を喜んでいました。

ゴミを拾って海をきれいに
御領海の日フェスタ



▲流れ着いたごみを拾う参加者

7月16日、五和町の若宮公園海水浴場で「御領海の日フェスタ」が開催され、親子連れなど約140人が参加しました。御領まちづくり振興会が海への理解を深めてもらおうと毎年開催しているもの。海岸を清掃した後、魚のつかみ取りに挑戦した子どもたちは、全身ずぶ濡れになりながらタイを追いかけました。海岸のごみ拾いをした親子は、「きれいになった海でまた遊びます」と話していました。

天草の雇用創出へ！

株式会社プレシード開所式



▲元体育館の工場でテープカット

7月20日、五和町の旧城河原小学校で産業用製造機械や検査装置の製造を手がけるプレシード(本社・嘉島町)の天草事業所開所式が行われました。体育館を改修した工場で同社の松本修一社長は、「ここを中央や世界を相手に先端技術のビジネスができる拠点にしたい」とあいさつ。開所時13人の社員は、来年の1月までに20人に増員する予定で、地元雇用につながることを期待されます。

集落散策の記念にいかが？

崎津集落で三宗教の御朱印発布



▲教会・お寺・神社の御朱印が一冊に

崎津集落の世界文化遺産登録を記念して、集落内にある3つの宗教の御朱印が一体となったものがもらえる取り組みが7月29日から始まりました。禁教下に、潜伏キリシタンが信仰を続けられたのは、それぞれの宗教が互いに助け合っていたことも要因の1つ。お寺「普應軒」、観音様をまつる「崎津諏訪神社」、カトリックの「崎津教会」を巡ってその歴史を感じ、記念に御朱印を頂いてみてはいかがでしょうか。

夏の花“はまぼう”咲き誇る

はまぼう観察週間



▲パークボランティアガイドから説明を聞く小学生
新和町小宮地のはまぼう群生地で、7月14日から22日までを観察週間とし、冷たいお茶やガイドなどで来場者をもてなしました。花が満開を迎えるこの時期に、新和まちづくり協議会が企画したもので、今年は上空から撮影した映像も放映。
17日には、新和小学校の6年生11人が花を観察し、「花だけでなく地元の地名や歴史を知ることができました」と話していました。

受験生に引っ張りタコ!?

タコ供養祭



▲タコの供養と高校受験合格を祈る参列者

8月8日、有明町のリップランドで「タコ供養祭」が行われました。タコの恵みに感謝するこの供養祭は、今年で11回目。
タコは英語でOctopus。置くトパス(合格)する語呂合わせで、高校受験を控える有明中学校の3年生35人も参加し合格祈願も併せて実施。お祓いを受けたタコのストラップは天草島内の中学生に配られました。
参列者は、「中学生の願いと併せて今後の豊漁も期待したい」と話していました。

友達いっぱいできたよ！

天草小学校と五木東小学校の交流会



▲川辺川でカヤックを楽しむ児童ら

8月2～3日、天草小学校の児童14人が五木村を訪問し、五木東小学校の児童17人と川遊びやビザ作りなどで交流を深めました。本市と五木村は、子守唄という共通の文化資源が縁で昨年4月に交流連携協定を締結。子どもたちが交互に訪問し合う交流を企画し、初めて五木村で開催したもの。
川辺川でカヤックを体験した天草小の児童は、「自然の中での交流は楽しい。新しい友達もできたよ」と話していました。

水鉄砲、あっという間に作れたよ！

夏休み子ども伝統工芸等制作体験



▲作った水鉄砲で遊ぶ子どもたち

夏休み中の子どもたちに昔遊びや伝統工芸に親んでもらおうと、7月29日天草文化交流館で制作体験教室がありました。ノギリやキリ、ナイフを使って水鉄砲や竹トンボを作った子どもたち。20分ほどで完成し、早速遊んでいました。陶芸や土人形作りは、後日絵付けをして完成させるとのこと。
竹トンボを作った柴田星弥くんは、「斜めに削るのが難しかった」と話していました。



あまくさ 海にうかぶ博物館
天草ジオパーク



QRコード

問い合わせ先：本庁・ジオパーク推進室（天草宝島国際交流会館ポルト内）☎096778

百聞は一見にしかず



▲遠見山化石層(牛深町)の見学

天草ジオパーク推進協議会は、子どもたちに天草ジオパークの魅力を知ってもらうため、教育活動にも力を入れています。

その1つが見学支援事業。学校活動で子どもたちがジオサイト・自然サイト・文化サイトをガイド付きで見学する場合、学校から現地までの交通費などを助成しています。天草市内の見学だけではなく、上天草市や苓北町への見学も可能です。

授業を受けた子どもたちからは、「地元のことなのに、知らないことがいっぱいあった」と驚きの声が上がります。実際に見ることで、天草が「魅力が詰まった場所」だと実感してもらえます。

同協議会では、一般向けにも出前講座を行っています。希望する団体は、ジオパーク推進室まで問い合わせてください。

教えて! 鵜飼さん
(ジオパーク推進室学芸員)

Vol. 3 せんがんもりだけ 千元森嶽の崖とだご石 (上天草市松島町)



▲千元森嶽の崖

松島有料道路の知十インターチェンジ付近に、白い砂岩が帯状に露出している断崖「千元森嶽の崖」があります。道路を挟んだ崖の向かい側には、高さ30mの岩場の上に巨大な砂岩が鎮座して、地元では「だご石」と呼ばれ祀られています。

この辺りの砂岩は、かつては「合津石」という名で採石され、県内の建築物に利用されていました。

ジオの見どころ! 千元森嶽の崖の地層は、約5,000万年前に浅い海で堆積した白岳層という地層です。この地層の砂岩は比較的硬いものですが、それでも地表に現れている部分は風雨にさらされ、風化・侵食を受けます。だご石は丘の上で砂岩が徐々に削られ、小さくなったものです。専門的には「コラストーン」と呼ばれています。



▲だご石 (上天草市提供)

かかし作りに挑戦!

第6回多世代交流事業



▲発泡スチロールから顔を削り出す参加者

7月22日、栖本地区コミュニティセンターで多世代交流事業が行われ幼児から高齢者まで約40人が参加しました。地区振興会が主催したもので、今年は宮地岳町の碓井弘幸さんを招いて、かかし作りに挑戦。

かかしの顔を作った参加者は、「頭を丸く削るのが難しい」と言いながら楽しく活動していました。今年度中の完成を目指して制作に励むそうで、栖本のカップとかかしの共演が見られるかもです。

青空になびく五色の吹き流し

一町田地区虫追い祭り



▲大小16本の「虫追い旗」が飾られた一町田橋

7月15日、河浦町一町田地区で虫追い祭りが開催されました。400年前程、氏神に納めた赤い布で病害虫を追い払ったとの言い伝えから始まった祭り。五色の布が巻かれた「虫追い旗」の重さは20kg以上あります。

祭りでは、旗を運ぶ速さを競う競技なども行われ歓声があがっていました。最後に旗を持って一町田川沿いを練り歩き、伝統の祭りに多くの住民が集いました。

水鉄砲と流しそうめんでひんやり!

夏休み高齢者と小学生の交流会



▲水鉄砲を一緒に作る高齢者と小学生

8月1日、倉岳町の宮田地区コミュニティセンターで高齢者と小学生の交流会が行われ、65人が参加しました。

高齢者から手ほどきを受けながら、水鉄砲を作った小学生。完成後は水をどこまで飛ばせるかを競う「飛ばしぐら」をして、びしょ濡れになりながら遊んでいました。遊んだ後は、竹を20mつないで流しそうめん昼食。

参加した高齢者は、「子どもの笑顔が見れてよかった」と話していました。

福島の子どもたちが御所浦の夏を満喫!

0円キャンプin天草



▲釣りを楽しむ子どもたち。何が釣れたかな

7月27～28日、自然の中で思いきり遊んでもらおうと「0円キャンプin天草」が御所浦町であり、福島県の児童10人が参加しました。0円キャンプスクール熊本実行委員会が主催したもので、東日本大震災の影響で思うように外で遊べない子どもたちを招待したものです。魚釣りや海水浴、化石発掘体験など御所浦の自然を満喫した子どもたちは、「魚がおいしかった」と笑顔で話していました。